

発表場所：(社)日本測量協会 3階会議室(記者会見)

発表日時：平成17年9月15日(水) 10時～11時

解禁日時：平成17年9月16日(木) 0時

社団法人 日本測量協会

「空間情報総括監理技術者」認定資格試験(第一回)に24名が合格

社団法人日本測量協会(会長 宮崎大和)は、平成17年度に創設した「空間情報総括監理技術者」認定資格の第一回試験の合格者を発表します。

本試験の結果は別紙のとおりです。

その他参考資料

資料1： 「空間情報総括監理技術者」資格の創設について

資料2： 「空間情報総括監理技術者」認定試験の実施について

参 考： ホームページ「空間情報総括監理技術者のページ」

<http://www.jsurvey.jp/gissv/gissv.htm>

(問い合わせ先)

社団法人 日本測量協会 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4

測量継続教育センター 空間情報技術教育部長 山本 博 電話 03-5684-3352

測量継続教育センター 教務部長 佐藤春治 電話 03-5684-3355

平成 17 年度「空間情報総括監理技術者」認定資格試験（第一回）の結果報告

日本測量協会は、国土管理の業務を効果的に遂行するため、空間情報分野の高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、空間情報を利活用するための製品・品質仕様の策定や運用管理の立案他を行うに十分な能力を有する技術者の認定資格の在り方を検討するため、空間情報技術委員会（委員長 東京大学大学院 教授 清水英範^{しみずえいぱん}）を設置し、「空間情報総括監理技術者」第一回認定試験を実施しました。

第一回認定試験には 72 名の応募があり、書類審査の結果、受験資格を有すると判断された 49 名が筆記試験を受験しました。

7 月 30 日の筆記試験および 9 月 9 日の面接試験に合格した、最終の合格者は 24 名（対応募者合格率 33%）です。

筆記試験および面接試験は、次の 3 点の能力を問う内容で、特に、受験者の独創性に重点が置かれました。

空間情報技術に関連する知識と経験

課題解決のための空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力

様々な事項に十分な配慮を払いつつ確実に業務遂行できる人格・責任感・リーダーシップ性

合格者は登録を済ませると、国土交通省の資格基準にある測量上級主任技師の職種と同等クラスの技術者として、日本測量協会会長が認定します。

本資格の有効期間は 5 年で、資格の更新には、日本測量協会が実施する「測量技術者継続教育証明制度（測量 CPD）」（平成 17 年 9 月 14 日現在の登録者数 3,002 人）の所定の CPD ポイントの取得が条件になります。

日本測量協会は、「公共事業の品質確保の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、空間情報技術に関する各種提案型入札業務の指名の際の評価要素として、「空間情報総括監理技術者」有資格者が利用されるよう関係機関に働きかけています。本有資格者は、多様かつ高度な空間情報技術を活用する公共事業の実践業務を総括監理する上級の主任技術者として、また、空間情報技術を活用する技術者の規範となる人材としての活躍が期待されます。

募集（6月1日～6月30日）

応募者	72名
書類審査	
受験資格条件を満たしたもの	49名
筆記試験（7月30日実施）	
筆記試験合格者	24名
面接試験（9月9日実施）	
面接試験合格者	24名

合格率（対応募者） 33%

合格者氏名

受験番号	氏名
05-002	瀬戸島政博
05-003	高 泰明
05-004	津留 宏介
05-018	住田 英二
05-019	北原 良彦
05-023	村木 広和
05-028	竹本 孝
05-030	内田 修
05-031	福田 真
05-033	秋山 幸秀
05-038	赤松 幸生
05-040	木下 牧

受験番号	氏名
05-041	野村 出
05-045	畠 周平
05-048	望月貫一郎
05-049	楠 覚
05-054	渡辺 智晴
05-055	東田 正樹
05-056	土方 聡
05-057	大友 正晴
05-063	横山 巖
05-068	沼田 洋一
05-070	大石 哲
05-072	神原 孝行

「空間情報総括監理技術者」資格の創設について

社団法人 日本測量協会

社団法人日本測量協会は、従前の測量専門技術者認定に加え、新たに「空間情報総括監理技術者」資格を平成17年度から創設することにしました。

「空間情報総括監理技術者」資格は、測量の技術領域が空間位置と関係づけられた様々な情報を扱う技術へと発展し、また、利用される領域が国土から社会生活にいたるまでの広がりを見せていることを背景にして、空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を社会的に認定するための制度です。「空間情報総括監理技術者」有資格者は、測量上級主任技師と同等クラスとして認定され、各種提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用していただけるよう、今後、関係機関に働きかけていきます。

1. 資格の目的

地物の位置定義に関わる測量の技術領域が、高度情報化時代において大きな広がりを見せています。測量技術がこれからの社会の要請に応えるには、空間的広がりを持つ地球上の位置と、それに直接的または間接的に関連付けられる様々な情報を扱う「空間情報技術」として捉えることが必要になってきました。

また、空間情報は、データの作成過程を明確にするだけでは調達するのが困難なため、使われ方（要求仕様）と、調達しようとするデータの仕様と品質（製品仕様、品質仕様）を定義することが重要です。このことから、空間情報の仕様策定、取得、構築から、システム運用、データのライフサイクルにわたる情報管理など、広範囲な技術を駆使できるスーパーバイザが必要になっています。

このことを背景にして、国土管理に必要な様々な業務を効果的に遂行するため、空間情報分野に関する高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、かつ、空間情報を利活用する要求に対して、問題抽出・分析に基づく要求仕様の策定、製品・品質仕様の策定、運用管理の立案、様々な技術・技術者のコーディネート等の業務を行うに十分な能力を有する者を社会的に認定することを目的とします。

2. 求められる要件

空間情報総括監理技術者に求められる要件は、以下のとおりです。

要求仕様の策定ができること

行政が事業を行う場合に、現状の課題を発見し、課題の解決に空間情報の適用が有

効か否かを判断し，発見された課題を詳しく分析・明確化することにより，業務に必要な空間情報の仕様と空間情報を利用する場合の効果を提示する能力を有すること
製品仕様・品質仕様の策定ができること

業務の課題解決に必要なデータやシステムの設計ができること

運用管理を立案し，業務を遂行できること

構築された空間情報を継続的に利活用するために，システムとデータの維持管理方法を立案し，様々な技術・技術者をコーディネートして，適切な事業を行うことができること

3 . 有資格者の処遇

有資格者は，測量上級主任技師と同等クラスの技術者として認定されます。

具体的には，

財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）が発注する提案型入札業務の指名参加の条件として利用していただける予定です。

今後，

国土地理院をはじめ，国土交通本省，地方整備局，地方公共団体，公益法人等が計画する空間情報関連事業の提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用されることが期待できます。

さらに，国土交通省以外の省庁が計画する空間情報関連事業の提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用されるよう働きかけます。

4 . 受験資格

受験資格は，次のすべての条件を満たすものとします。

測量士の資格を有すること

技術士の資格または博士の称号，または，これらと同等の能力を有すること

空間情報関連業務に15年以上従事し，かつ，当該業務の責任者（原則として主任技術者）を2回以上経験していること

5 . 認定試験

筆記試験及び面接試験を行い，以下の能力を判定します。

空間情報技術に関連する知識および経験を有しているか

空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力を有しているか

業務を遂行できる人格・責任感・リーダーシップを有しているか

筆記試験は7月30日(土),会場は東京の予定です。各受験者が準備したノートパソコンを用いて解答を作成します。関連図書の持ち込みやインターネットの接続が可能な,ユニークな試験を予定しています。

面接試験(筆記試験合格者のみ)は9月9日(金),会場は東京の予定です。

受験資格,願書配布,願書受付,受験料等の詳細内容が決まり次第,機関誌『測量』および当協会ホームページ(<http://www.jsurvey.jp/>)でお知らせします。

[問い合わせ先]

問い合わせはEメールにてお願いします (geoinfor@jsurvey.jp)

担当 社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 教務部

空間情報技術教育部

< 参考 > 「空間情報総括監理技術者」の位置づけ

空間情報総括監理技術者							
測量専門技術者							
基準点測量	写真測量	地理調査	地図製図	応用測量	GIS	地図編集	
							1級
							2級
測量士							

資料 2

空間情報総括監理技術者認定試験の実施について

社団法人日本測量協会の定款第 8 条に定める事業のうち，空間情報総括監理技術者の認定試験を，次のとおり実施します。

平成 17 年 4 月 20 日

社団法人日本測量協会 会長 中川 一郎

1. 試験の実施日時

筆記試験 平成 17 年 7 月 30 日（土）
13 時 30 分から 16 時 30 分まで

面接試験 平成 17 年 9 月 9 日（金） 時間は筆記試験合格者に通知

2. 試験の場所 東京都

3. 受験願書の受付期間

平成 17 年 6 月 1 日（水）から平成 17 年 6 月 30 日（木）まで
午前 9 時から午後 5 時まで（ただし，土日休日を除く）

4. 受験案内の入手方法及び受験願書の提出先

受験案内の入手方法 協会のホームページからダウンロード又は返信用切手（140 円）同封の上，協会に請求

受験願書の提出先 （社）日本測量協会 測量継続教育センター
空間情報技術教育部

5. 合格発表

筆記試験 平成 17 年 8 月 25 日（木）

面接試験 平成 17 年 9 月 16 日（金）

協会のホームページに掲載

6. その他

受験についての詳細は，協会のホームページに掲載していますので，ご覧下さい。

【問い合わせ先】 問い合わせは E メールにてお願いします（geoinfor@jsurvey.jp）

（社）日本測量協会 測量継続教育センター 空間情報技術教育部または教務部

〒112-0002 東京都文京区小石川 1 - 3 - 4